

事務局便り4月号

このたび、東日本大震災により被災された皆様には心よりお見舞い申し上げます

平成23年度がスタートいたしました。荒川区国際交流協会事務局は、下記のとおり昨年と同じメンバーで担当させていただきます。今年度も多文化共生と草の根の交流促進に向けて新たな事業を企画してまいります。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

事務局長	高梨 博和	(たかなし ひろかず)
次長	富樫 誉	(とがし ほまれ)
係長	薄場 郁子	(うすば いくこ)
担当	浦田 寛士	(うらた ひろのり)
担当	高山 善恵	(たかやま よしえ)
担当	山浦 育子	(やまうら いくこ)
担当	吉田 真祐	(よしだ しんすけ)



高梨事務局長より

いつも荒川区国際交流協会事業にご協力いただきありがとうございます。また、日頃から、ボランティアの皆様の温かいお力添えに心から感謝申し上げます。

今年度は、東日本大震災の影響をふまえ、外国人の方の震災対応や被災地の外国人の方々との草の根交流施策に重点を置いてまいります。

また、日本語教室や日本語サロン、バスハイク、日本語スピーチコンテストなどの支援・交流事業のほか、友好都市であるウィーン市ドナウシュタット区との友好交流事業など、皆様のご意見をお聞きしながら、幅広い事業を実施してまいりたいと存じます。

皆様のご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。

東日本大震災に寄せて

海外交流都市の皆さまからも温かい気持ちをお寄せいただいています。ドナウシュタット区のヴェーデル元市長を中心とした、ウィーン・ドナウ・ライオンズクラブ様から、1万ユーロ（114万円程度）のお見舞金を日本赤十字社東京支部にいただきました。

また、済州市長とウィーン市ドナウシュタット区長からそれぞれお見舞いのお手紙をいただきましたのでご紹介させていただきます。

濟州市長 金 柄立 様 より

尊敬する荒川区民の皆さま！

去る11日の大震災による人命の被害、莫大な財産の損失を受けていらっしゃる事に対し、濟州市長である私は42万の濟州市民と共に、犠牲者の皆さまそしてご遺族の皆さまに、深くお悔やみを申し上げます。

そして震災の克服と人命救助のために、秩序正しく迅速に最善を尽くしている、貴国の国民の努力に深く敬意を表します。

平穏な昼下がりの時間に、突然発生した大地震による精神的な衝撃と、様々な苦難におかれていらっしゃる日本の皆さまを思うと心が大変痛みます。

また、2007年濟州がナタリ一台風による困難な局面にある時に、荒川区の皆さまからお寄せいただいた温かい心遣いを思い出しては、一層心が痛みます。

貴区とは、友好交流都市提携以降、多方面で交流を行って参りました。今日までの友情の力で、一日も早く大震災の被害から復旧され、安定した生活に戻れるよう、我が濟州市の42万市民が心を一つにし、日本の皆さまを応援して参ります。

ドナウシュタット区長 ノルベルト・シェード 様より

メディアでの報道にショックと驚きを感じながらも経過を見守っております。この度の日本での災害、言葉に表すことができません。ただ、荒川区で大きな被害もなく区民の皆さまがご無事という事を知り、ひとまずは安心をいたしました。そして原発の危機が回避できる事を私も願っております。

本年の友好交流周年事業の催事に関しては、荒川区の皆さまのウィーン訪問を心から歓迎したいと申し上げる次第です。

また、津波の犠牲者の方へドナウシュタット区民、市民、ドナウシュタット区芸術家、ウィーン・ドナウ・ライオンズクラブからも支援をさせていただきます。

このような状況の中でも、友人である荒川区の皆さまが、あらゆる問題を乗り越え、希望を持てる事を願いつつ、書面にてご挨拶申し上げます。私の心の中には、皆さま、そして日本の友人がいます。

それでは、再会を楽しみにしております。

★4月の事業予定★

□ 留学生に寄付する生活用品を募集します

区内にある4つの日本語学校、アジア学生文化協会留学生寮では、4月に新入生を迎えます。留学生が日本での生活を始めるにあたって、生活用品を必要としています。会員の皆さまやお知り合いのお宅でご寄付をいただける用品がありましたらご協力をお願いします。次回は平成23年10月に募集いたします。

- **募集用品** タオル、シーツ、石けん、かさ、なべ、やかん、フライパン、ポット、炊飯器、掃除機、食器類など（大型家電製品、衣類は不可）

* タオルなどの布製品は未使用のもの、食器・調理器具などは新品のものをご提供くださいますようお願いいたします。

- **物品受付期間・場所** 4月22日（金）までに、協会事務局（区役所3階13番窓口）へお持ちください。

★お知らせ★

□ 「外国人のための日本語教室」、「日本語サロン」、「茶道教室」、「華道教室」を実施します

外国人のための日本語教室1学期、日本語サロン春期、茶道教室春期が下記のとおり開講します。ボランティアの皆さま、お忙しいところ恐縮ですが、今年度もよろしく申し上げます。

～計画停電の影響による事業の内容変更のお知らせ～

東日本大震災の発生に伴う電力供給不足を受け、荒川区は、ひろば館等の夜間使用を休止しております。そのため、大変残念ではございますが、しばらくの間、休講とさせていただきます。

※昼コースは、従来どおり開講いたします。

再開できる見込みになりましたら、ご連絡させていただきますので、どうぞご理解くださいますようお願い申し上げます。

《日本語教室》

- **日程** 4月12日（火）～7月5日（火）原則、毎週火・木曜日（22回）

- **時間** 14時～16時 ■ **会場** 生涯学習センター

《日本語サロン》

- **日程** 4月13日～7月27日 毎週水曜日

- **時間** 14時～16時 ■ **会場** 生涯学習センター



《茶道教室》

- **日程** 4月8・22日、5月13日・27日、6月10・24日、7月8日・22日
原則、毎月第2・第4金曜日

- **時間** 14時00分～16時30分 ■ **会場** アクト21（男女平等推進センター）

★茶道教室は時間帯が変更になりました。

《華道教室》

- **日程** 4月21日（木）

- **時間** 14時～16時

- **会場** アクト21（男女平等推進センター）1階創作室

- **参加費** 500円

- **申込** 4月18日（月）までに、事務局へ、電話・FAX・メールでお申し込みください。



□ 「川の手荒川まつり」世界の民族衣装記念撮影は中止です

4月29日(昭和の日)に開催予定の「川の手荒川まつり」につきましては、3月30日に川の手荒川まつり実行委員会より、区ホームページ等を通して、中止の発表がありました。そのため、国際交流協会が毎年出店していました「世界の民族衣装記念撮影コーナー」も中止とさせていただきます。ご理解のほど、よろしくお願い申し上げます。

★ 事業報告 ★

□ 潮来市へ救援物資とあったかいコーヒーを届けに行ってきました

3月24日(木)に茨城県潮来市へ救援物資を届けるとともに、荒川区国際交流協会として、あったかいホットコーヒーを提供しに行ってきました。

地震の影響により荒川区産業展が中止になり、産業展で販売を予定していたフェアトレードコーヒーを被災地の方々へ提供させていただきました。

潮来市は平成16年から荒川区と交流があり、川の手荒川まつりで、潮来市ブランド米「潮来あやめちゃん」や農産物などの販売を継続的に行っていただき、来場のお客様から大変好評を得ています。

今回の地震により潮来市は甚大な被害を受け、市内の道路は液状化現象により隆起し、電信柱が傾き、断水やガスの供給がストップしている地域がありました。そのため、断水地域にお住まいの方々が学校等に避難され、避難所のグラウンドでは、自衛隊の方々が給水活動を行っていました。



当日は、9時に区のワゴン車で荒川区役所を出発し、高速道路で潮来市へ向かいました。救援物資としてトイレットペーパー、アルコール消毒液、保存水ポリタンクなどを市役所に届け、市長をはじめ関係職員の皆さまから、感謝のお言葉をいただきました。

その後、コーヒーを提供させていただく避難所(日の出中学校)に向かいました。潮来市職員の方が前日に「荒川区からコーヒー

の提供があります」と防災無線などを通して周知してくださったおかげで、たくさんの方々に来ていただけました。

出来たてのコーヒーを提供しますと、皆さまから「あったかくておいしい」「久しぶりに出来たてのものを味わえた」「遠いところからありがとう」などとあったかいお言葉をいただきました。被災地の一日も早い復興を心から願うとともに、国際交流協会として、協力できることを今後も考えながら、支援活動を続けてまいります。



「事務局だより」を e-mail で配信します！ ぜひ、ご利用ください！

下記のアドレスに「事務局だよりのメール配信希望」の旨をお知らせください。
なお、メール配信となった方には郵送しませんのでご了承ください。

荒川区国際交流協会事務局（荒川区文化交流推進課内）